

2018年度第8回ひまわりの会役員会

2019年2月6日(水) 13:30~
絆の会法人本部3階 多目的スペース
司会：小林 和代

参加者：役員7名、ボランティア1名、絆の会職員3名

欠席者：役員7名

☆気分調べ

1. 学習会の反省

- 高橋先生がわかりやすく話してくれて良かった。参加者のみんなからも色々な質問がでてよかった。
 - かみ砕いて話してもらえて良かった。
 - 1つ1つの質問に丁寧に答えてもらった。先生個人のお話「どうして精神科医になったのか？」等も聞ければ、なお良かった。限られた時間で同じ人が何回も質問してしまった。“質問は1人1回”等ルールを決めておけば良かった。
 - 接待係だったが、応接室でも先生が気さくに話しかけてくれて楽しく係ができた。
 - ためになったし、勉強になった。良かった。
 - もっと所属事業所で宣伝をして参加者を集めたかった。医学的な立場から正しく病気を理解したいという思いから参加された人が多かったのではないかと思う。「病気は治るのか？」という話題になったが、先生からも“リカバリー”という言葉が出て、希望をもって良いのだと思えた。
 - 高橋先生は自分の主治医と似た雰囲気だった。
 - 参加したくても来れないという方もいたと思うので、事前に質問を募集すれば良かった。ある程度、同じような質問は整理しておけば時間をより有効に使えたと思う。
- ※当日の記録を作成して配布する形で、会員に還元できるようにする予定。

2. 定期総会について

★どんな形の催しにする?どんな方をお呼びしたいか?

- 増川ねてるさん

障害者手帳を返したとお聞きしたが、不自由はないか?等お聞きしたい

- お笑いコンビ 松本ハウスさん

以前、せいしれんに来ていただく予定だったが、ハウス加賀谷さんが体調不良で来られなかったのが残念。ぜひ、コンビで来ていただきたい。せいしれんで松本キックさんのお話を聞いたが、ハウス加賀谷さんのことをよく理解されていたし、コンビ解消!となってしまうこともありうるのに、すごいことだと思った。

- 映画上映『夜明け前』

- 『ツレがうつになりまして』作者 細川貂々さん

- 瀬戸内寂聴さん

死生観についての話をお聞きしたい。ご高齢であるし、現実的には厳しそう。

⇒投票の結果、ゲストの第一候補：松本ハウスさん、第二候補：細川貂々さん

★日時について

※例年、6月の月曜日午後 ※バレー北信越・東海ブロック予選会 6/1・2

予定：2019年6月17日(月)もしくは10日(月)の午後

⇒定期総会講演係：小林和さん、荻原さん、(志村)

3. ひまわりの会の理念づくりについて（北島さんより提案） 別紙参照
⇒作成する方向で活動していく。いつまでに作成するか等は委員会で検討していく。
⇒理念づくり実行委員を募集する。役員でなくてもOK！各事業所で募る。

4. 会費について

【各事業所であがった意見】

- 国会請願等、行っているのは知らなかった。
- 研修報告をするときにはお知らせがほしい
- 旅行に関しては、行かなかった人に還元される訳ではないから自己負担にしてほしい。
- “強制的な加入”であることが納得いかない
- 通所日数が少なかったり、その時の体調にもよって通所日数が左右されたりする。確かに金銭的に厳しいという人もいるため、一度アンケートをとって意見を聞いてはどうか。
- 入会して間もないということもあるが、どのように会費が使われているのかわからないため、月 500 円という金額が妥当かどうか判断できない。
- 減免申請に賛成。
- 減免申請の基準がはっきりしないし、申請が通る人、通らない人が出てくると嫌なので、一律減額にしてほしい。
- どうして払っているのかわからない、という人も多い。

★収入と支出について（市川さんより）

試算の結果、今まで通りの会員数であれば、会費を一律月 400 円程にしても、今まで通りの活動はできそう。

【役員会であがった意見】

- 研修報告については、多くの人へ還元できるよう広報係でも取り組んでいきたい。
- 旅行の補助については、他の会費でも参加しない行事があったとしても会費から補助を出しているのだから、全くダメということはないと思う。会員数の規模によるところがあって一概には言えないと思うが、より多くの人に参加したいと思える行事を企画して、参加を呼び掛けていきたい。
- “強制的な加入”という言葉について、ひまわりの会の活動には良いものがたくさんあると思うので、そういった活動をもっと知ってほしい。活動内容の周知を繰り返す行う必要があると感じる。
- 会費の使い道については、口頭だけで説明するのではなく、資料があればわかりやすいし、説明もしやすくなるのではないか。
- 減免申請のほうが、一律減額に比べ、全体の収入が減らずに済み、良いのではないか。
- 減免申請の基準を決めるのは大変そう。また、許可するかどうかの判断も大変ではないか。
- ひとまず、減免申請を希望する人数を把握するためにアンケートをとるのはどうか。
- 減免申請による減額が良いと思っていたが、実際にやってみると考えると一律減額のほうが現実的ではないか。会員の皆さんも納得しやすいと思う。
- 400 円なら 400 円と減額したところで、それでも払えない人、払いたくないという人もいる。そういう人はどうするか。今、実際に払っていない人もいるようだし…

- 活動内容に賛同してもらえ人に加わってもらう形にするのはどうか。改めて活動内容をお伝えする内容を入れた上で、「加わるとどう選べるようになるとしたらどうか」をアンケートでお聞きする。その回答で決定という訳でなく、会員の希望を把握するために実施する。
 - 活動内容をどんな内容で会員の皆さんへお伝えするか、検討が必要。
- ⇒会員の希望を把握するためのアンケートを実施する。
 内容はアンケート作成係で検討し、次回の役員会でアンケートの案を提出する。
 アンケート作成係：北島さん、小宮さん、（市川さん、小林奈さん、志村）

5. その他

★ボランティアさんについて

現在、会計をボランティアさんをお願いしているが、その他にお願いしたいことはあるか？

- 役員会の書記

★各事業所で報告すること

①定期総会について

ゲストの第一候補：松本ハウスさん（お笑いコンビ）

第二候補：細川貂々さん（『ツレがうつになりまして』作者）

開催日時の候補：2019年6月17日（月）か10日（月）の午後

★各事業所で検討すること

①理念づくり実行委員募集

ひまわりの会として、目指していきたい事、大事にしていきたい事など今後の活動の指針になるようなものを一緒に考えてくれる方を募集します！

“理念”というと難しく聞こえるかもしれませんが、各事業所で会員の皆さんに「ひまわりの会がこんな会になっていくと良いなあ」などの思いを聞いてきたり、あがった声を一緒にまとめたりしてくれればOKです。

★各事業所で呼びかけること

①ひまわりの会ホームページ ブログ記事募集

②国会請願 署名どんどん集めましょう！

次回：2019年3月6日（水）13:30～

絆の会法人本部3階 多目的スペースにて

司会：長田 勝利さん